

(株)セイノー情報サービス

大垣市・システム開発

従業員数／男性349名 女性123名 計472名 ※令和4年11月現在

エクセレント POINT

- ①出産での退職は過去15年間なし
- ②テレワークや時短勤務など働き方は自由に選択可能
- ③法を上回る女性の育児休業取得期間と多数の男性の育児休業実績



心身をリフレッシュする機会の社員旅行には、子育て中の東松さんと近藤さんも参加。

また、育児との両立支援も手厚く、保育所に入れない場合など、子どもが2歳半になるまで取れる育児休業の取得率、復帰率はともに100%を誇る。小学校と保育所に通う子どもを育てながら、システムエンジニアとして働く近藤倫代さんは、「4年半にわたり育児休業と有給休暇を続けて取得し、職場復帰した。復帰時にとまどいはあったが、上司や同僚に教わりながら働けていた。育児中の先輩も多く、悩みを相談できありがたい」と話す。

さらには中学校入学前まで時短勤務を利用可能としており、2人の小学生の子どもを持つシステムエンジニアの東松恵子さんは「時短勤務は当たり前のこと。いつまで取れるかは決めていないが、期間が長く設けられていることはありがたい」と話す。他にも在宅勤務制度など、社員が長く勤められる環境を整えている。

セイノー情報サービスでは、2017年4月から、終業時刻と20時の2回、BGMをかけ、帰宅を促す取組みを行っている。また、ソフトウェアロボットを導入したことにより、48分かかっていた出荷データの作成やメール送信などの作業は6分で済むようになった。そのため、他の仕事に充てられる時間が

増え、月平均所定外労働時間の約12%削減に成功した。
女性の活躍推進にも力を入れており、女性リーダーを育成するための具体的な数値目標を掲げ、研修会等を実施。女性採用率の目標を30%とし、女性向けの新卒採用説明会などをを行い、新入社員の4割以上が女性となっている。



「女性リーダーを育てる研修」を実施。グループワークでは、様々な意見が飛び交う。

在宅・時短勤務により女性の継続就労を支援